

富山和子氏の「日本の米カレンダー展」を開催 －水田は文化と環境を守る－

ポイント

- ・ 富山和子氏の2012年版「日本の米カレンダー」を12月1日からパネルで紹介するとともに、バックナンバーのカレンダーも展示します。
- ・ 2012年版「米カレンダー」の情緒ある農村風景を朗読付きの映像で楽しんでいただきます。

概要

1. 農研機構【理事長 堀江 武】が運営する見学施設「食と農の科学館」では、平成23年12月1日から平成24年4月10日までの間、富山和子氏の「日本の米カレンダー展」を開催します。つきましては、皆様からも、紙面、番組等でこの催しを広くご案内いただければ幸いです。
2. 富山和子氏は、米づくりの上に築かれた日本の文化、農民によって支えられてきた国土の自然を次の世代に継承したいとの願いを込めて、農村風景と自作の詩からなる「日本の米カレンダー」を制作されています。「日本の米カレンダー」は、今年で23周年を迎えましたが、これまで、多くの新聞や雑誌で紹介され、人々に農村風景の美しさや農林水産業の重要性を伝える役割を果たしてきました。
3. 「日本の米カレンダー展」では、富山和子氏の2012年版カレンダーに使用した写真や詩をパネルで展示紹介するとともに、富山和子氏本人の朗読入り映像をご覧いただけます。また、過去の米カレンダーも併せて展示紹介します。



これまでに開催した「日本の米カレンダー展」

（富山和子プロフィール）

評論家、日本福祉大学客員教授、立正大学名誉教授。
水、緑の問題を始め、国土の資源や環境問題を総合的な視野からとらえ、文化と環境を守るためには、農業、林業、漁業を大切にしなければならないことを一貫して訴え、鋭い提言を行ってきた。
「日本の米」「水と緑と土」「水の文化史」「日本再発見 水の旅」「川は生きている」「森は生きている」「お米は生きている」「水と緑の国、日本」「環境問題とは何か」「日本の風景を読む」など著書多数。

◆◆ 食と農の科学館のご案内 ◆◆

- ◇住所：茨城県つくば市観音台3-1-1
- ◇電話：029-838-8980
- ◇開館日：年末年始を除く毎日
- ◇開館時間：午前9時～午後4時
- ◇入館料：無料

問い合わせ先

広報担当者：農研機構 連携広報センター 田中、荒井

TEL:029-838-8988 FAX:029-838-8982

この資料は、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。